

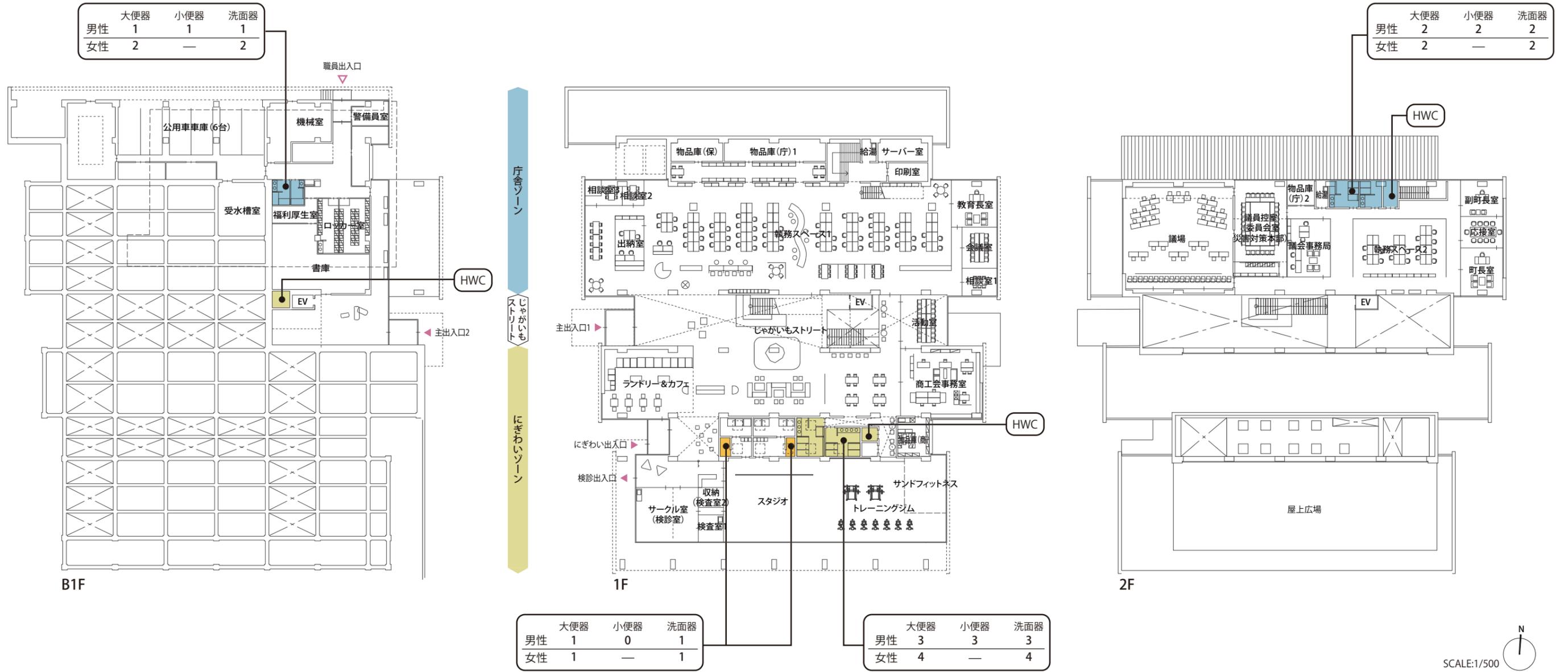
□面積表

地下1階床面積	798㎡
1階床面積	2,144㎡
2階床面積	734㎡
延べ床面積	3,676㎡

ピット伏図

地下1階平面図
(798㎡)





倉舎ゾーン

●B1F+2F
→職員数、議員数より必要数を算出

職員(人)	男性:60	女性:24	*現庁舎ロッカー数を参考
議員(人)	男性:10	女性:0	
合計(人)	男性:70	女性:24	

■計画数

		大便器	小便器	洗面器
男性	計画数	3	3	3
	算出数	3	3	3
女性	計画数	4	—	4
	算出数	3	—	3
HWC	×1	(2Fに計画)		

にぎわいゾーン

●カフェエリア + じゃがいもストリート等共用部
→面積、商工会職員数より必要個数を算出

・ランドリー&カフェ	113㎡	916㎡×0.3(人員密度)=274.8≒275(人)
・じゃがいもストリート	210㎡	男女比 4:6 →男性:110(人) 女性:165(人)
・待合ホール(B1F)	130㎡	想定利用者数(人)
・廊下など	371㎡	男性:110 女性:165
・サークル室	44㎡	商工会(人)
・活動室	48㎡	男性:8 女性:2
合計	916㎡	合計(人) 男性:118 女性:167

■計画数

		大便器	小便器	洗面器
男性	計画数	3	3	3
	算出数	3	3	3
女性	計画数	4	—	4
	算出数	4	—	3
HWC	×2	(B1F、1Fに計画)		

●フィットネスエリア
→ルネサンスのヒアリングによる

■計画数

		大便器	小便器	洗面器
男性		1	0	1
女性		1	—	1

既存公衆トイレ

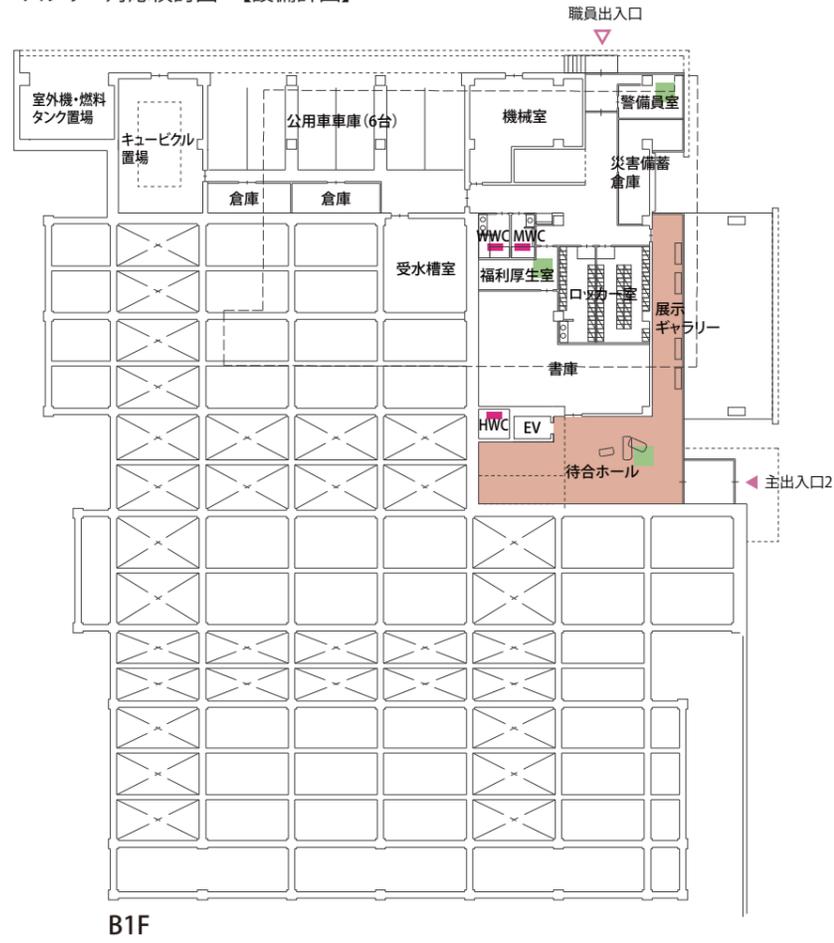
●屋外

■既存数

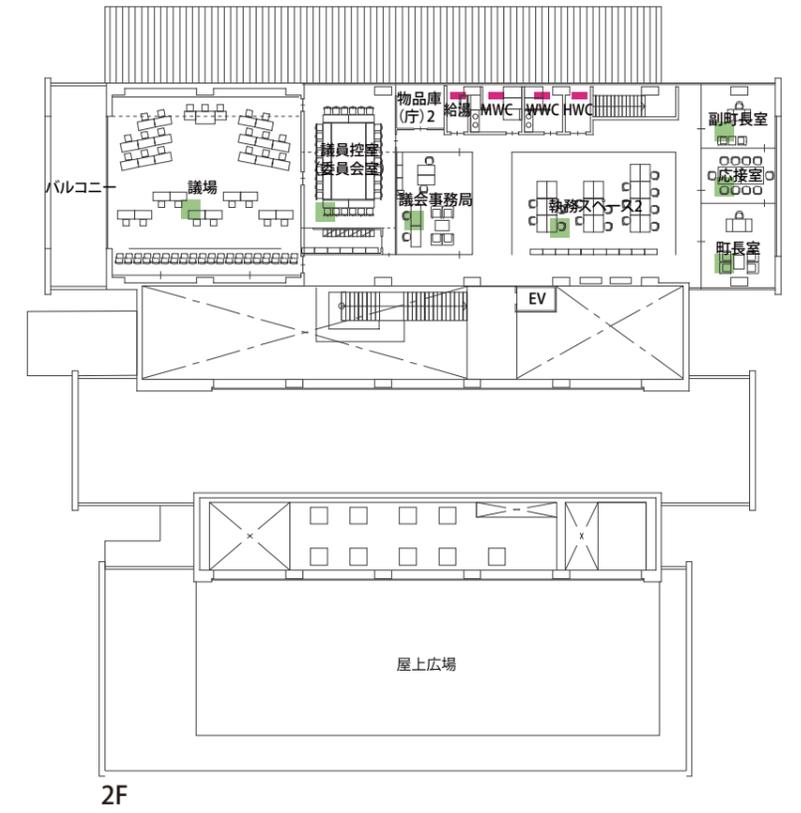
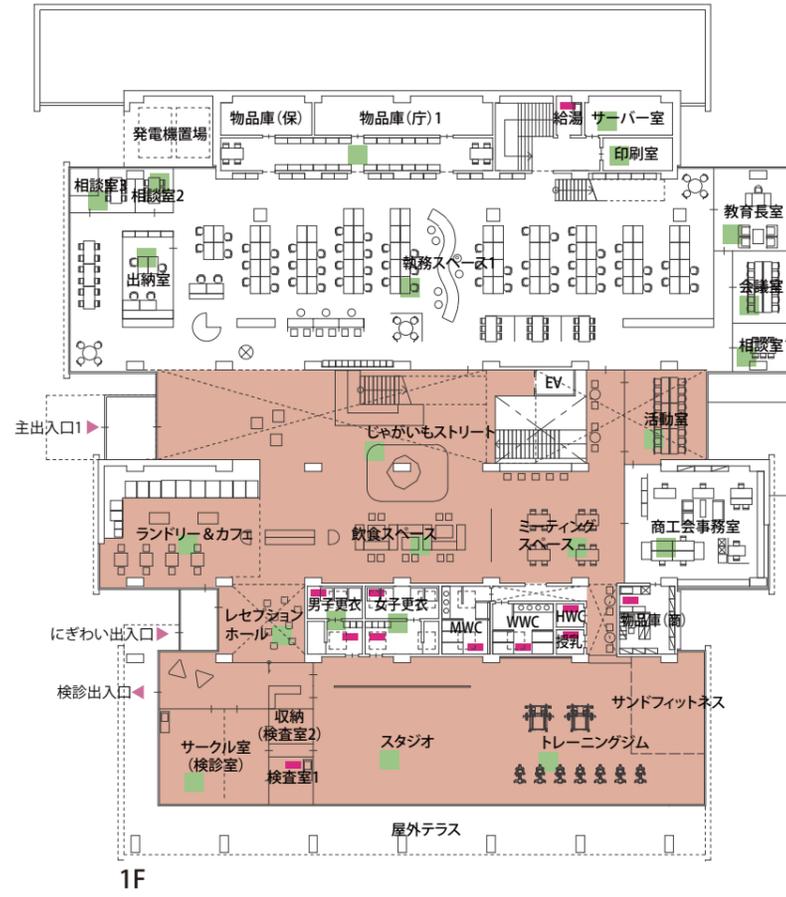
		大便器	小便器	洗面器
男性		2	2	1
女性		2	—	1
HWC	×1			

※出典:『給排水衛生設備規準・同解説』
※サービスレベル1(上限値)-ゆとりある器具数を基準に設定

- [凡例]
- 温水床暖房
 - エアコン(暖冷房) ※床暖房エリアは冷房専用
 - 電気パネルヒーター(凍結防止)
 - 利用しない部屋など



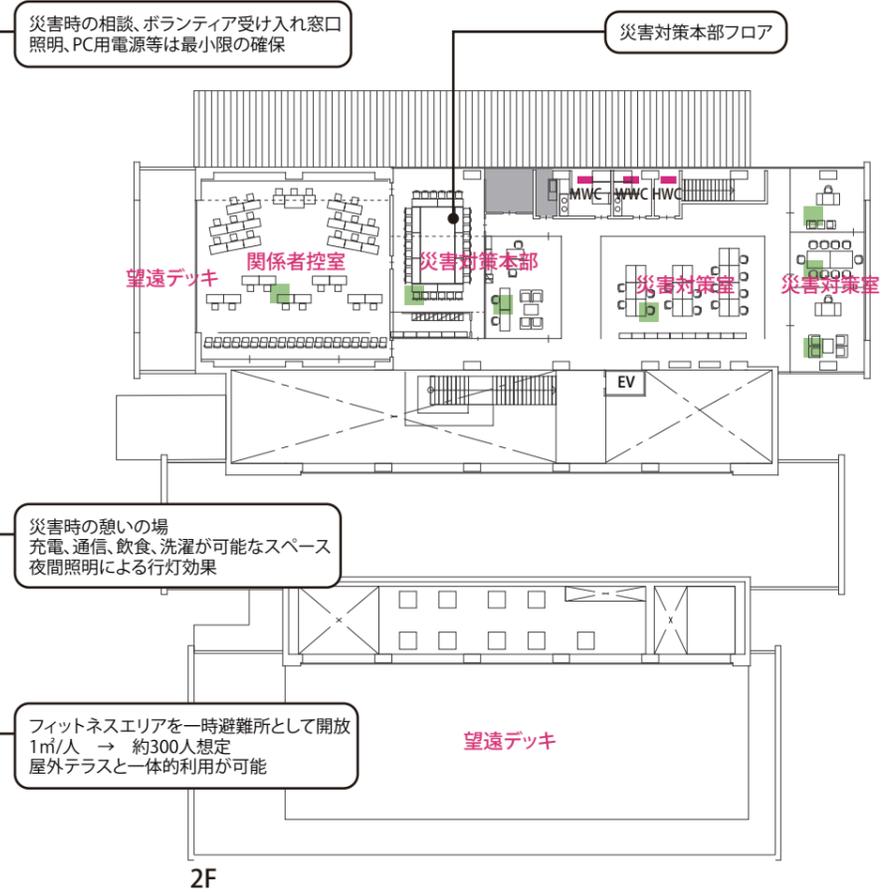
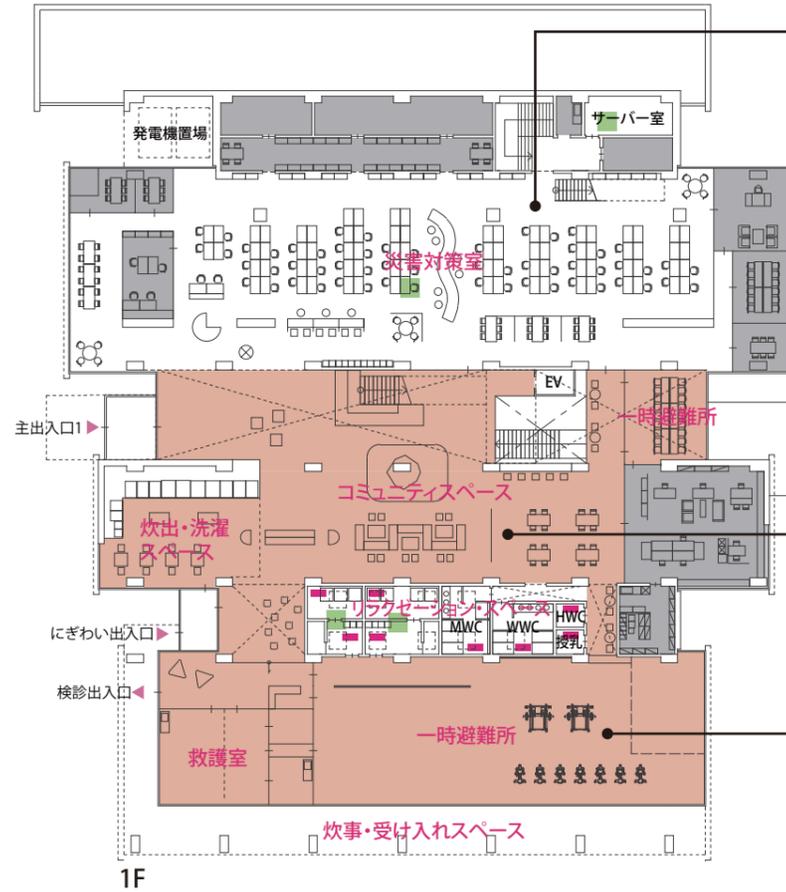
庁舎ゾーン
じゃがいも
ストリート
にぎわいゾーン



平常時
災害時



庁舎ゾーン
じゃがいも
ストリート
にぎわいゾーン



シャワー・ランドリーの給湯用(中央熱源方式)
※給水は水道直圧方式によるが、災害時対応用に別途貯留槽あるいは受水槽の設置が必要

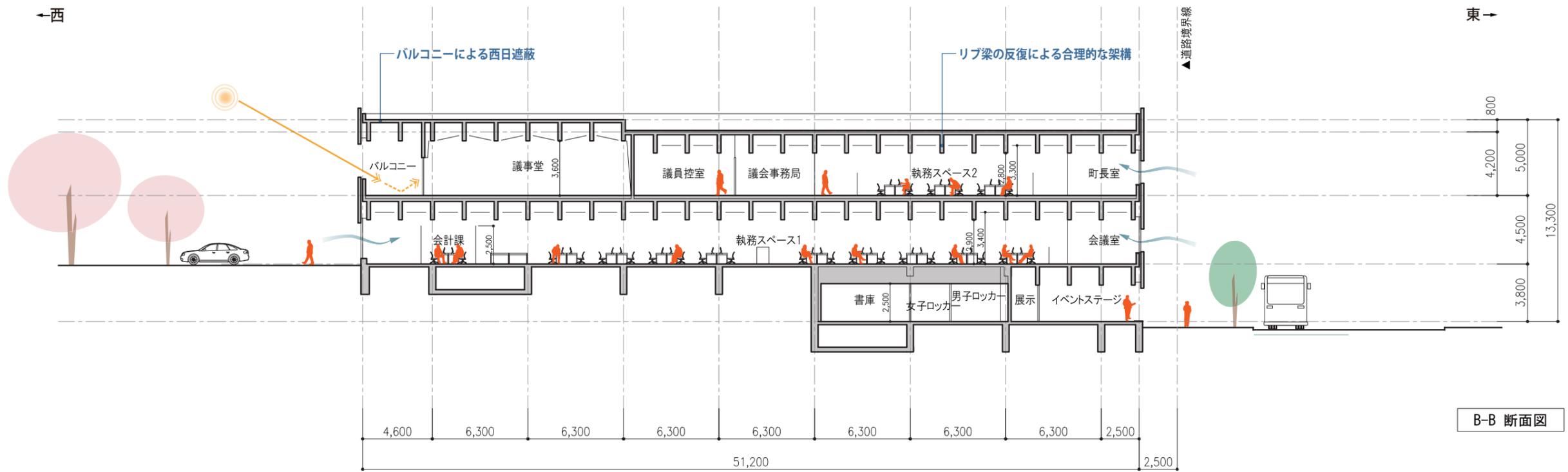
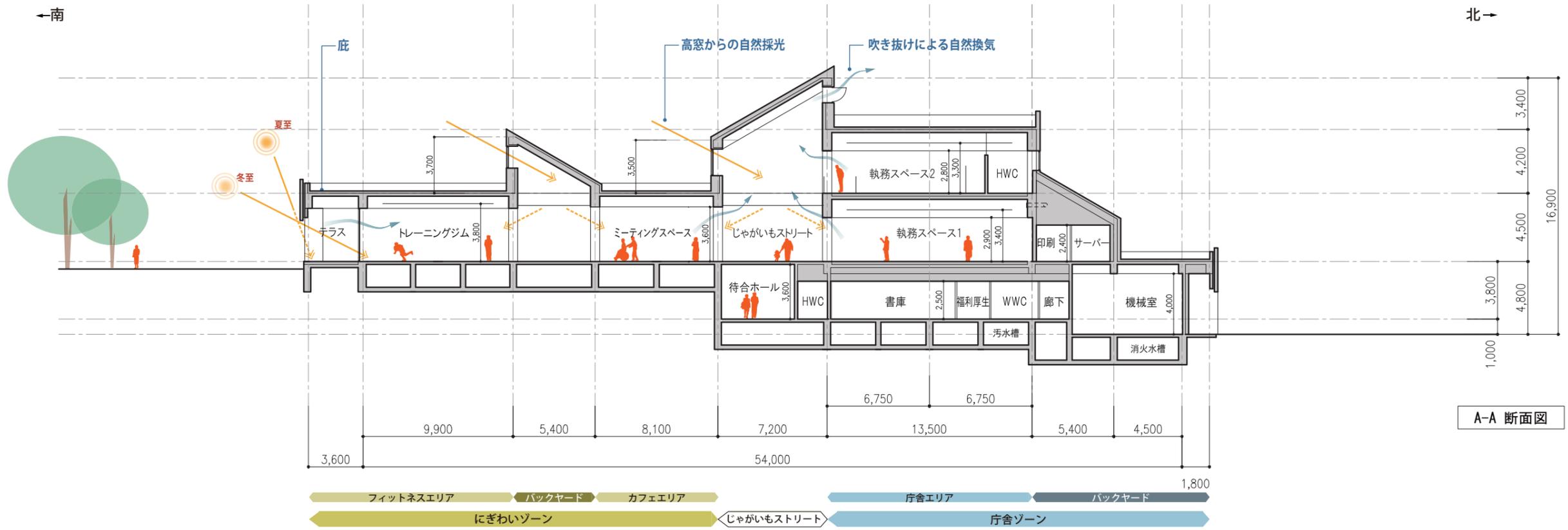
高低差を利用し汚水槽から排水管へ自然放流が可能
(復旧作業時のバキュームによるくみ上げ不要)
※B1Fのトイレは防災貯留型システムを検討

災害時の相談、ボランティア受け入れ窓口
照明、PC用電源等は最小限の確保

災害対策本部フロア

災害時の憩いの場
充電、通信、飲食、洗濯が可能なスペース
夜間照明による行灯効果

フィットネスエリアを一時避難所として開放
1㎡/人 → 約300人想定
屋外テラスと一体的利用が可能





ハイサイドライトから光が降り注ぐじゃがいもストリート



じゃがいもストリートから窓口カウンターをみる



リブ梁が連続する見通しの良い執務スペース



2階からじゃがいもストリートを見下ろす



カフェ・ミーティングエリア全景



ミーティングエリアからフィットネスジムをみる



外部に面した明るいランドリー&カフェ



公園に向けて開放的なフィットネスエリア